

## もくじ

- ・ <sup>きん</sup>金のたまごを<sup>う</sup>産むめんどり

<sup>きん</sup>金のたまごを<sup>う</sup>産む

めんどり

<sup>げんさく</sup>原作： <sup>ぐうわ</sup>イソップ寓話

イラスト： <sup>のざき たかこ</sup>野寄 貴子

<sup>へんしゅう</sup>編集： YellowBirdProject

むかしむかし、とある<sup>まず</sup>貧しい夫婦が、一羽の<sup>ふうふ</sup>  
めんどりを<sup>いちわ</sup>飼っていました。  
<sup>か</sup>

ある朝、奥さんがいつものように、卵<sup>たまご</sup>を取りに  
にわとり小屋<sup>と</sup>へいくと、なんとそこには、光り<sup>ひか</sup>  
かがやく『金<sup>きん</sup>の卵<sup>たまご</sup>』が一つ<sup>ひと</sup>転がっていました。  
<sup>ころ</sup>

奥<sup>おく</sup>さんはその卵<sup>たまご</sup>をつかんで、慌<sup>あわ</sup>ててだんなさんの  
元<sup>もと</sup>へ走<sup>はし</sup>りました。



5

「なんとこれは！いったいどうしたことだ！！」

「わからないわ。でもきつとこれは、<sup>かみさま</sup>神様からの  
<sup>おく</sup>贈り物よ！<sup>もの</sup>ようやく<sup>わたし</sup>私たちにも、<sup>こううん</sup>幸運がめぐって  
きたんだわ！」

<sup>きん たまご まち</sup>金の卵は、<sup>たか ねだん う</sup>町でおどろくほど高い値段で売れまし  
た。

<sup>ふうふ ひ なか</sup>夫婦はその日、おいしいものをお腹いっぱい  
<sup>た あたら ふく か いえ かえ</sup>食べて、新しい服を買い、ごきげんで家に帰  
りました。

